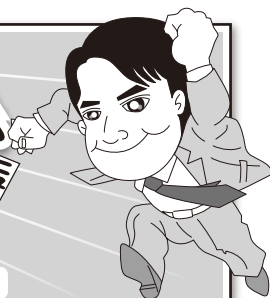


しんば賀津也と歩む会 NEWS

第23回参議院議員通常選挙特集号

Shimba Kazuya to Ayumukai NEWS

平成25年9月発行 Vol.23 25,000部発行



●賀津也の部屋●

「炎の街頭演説200連発」をやるよ！」遊説スタッフの1人が言った一言がすべての始まりだった。参議院の選挙期間は17日間。単純計算で1日12回の街頭演説をこなせば204回の演説回数に到達することになる。しかし、広い静岡県全域をくまなく回る参議院選挙では、決められた時刻に約束の場所を通過しないと、各地の支援者に多大なご迷惑をかけることになる。ましてや今回の選挙期間の天候は、本来色白の私が真っ黒に日焼けしてしまうほどの記録的な猛暑の日々だ。予定された1日5~6か所の街頭演説場所のほかに、移動の合間を縫って、いわゆる“スポット”での街頭演説を増やすしか方法はない。翌日、街宣カーには私の演説回数を表示する「カズメーター」なるもので用意されていた。

私は街頭演説を行うたびに必ずやることがある。マイクを握り、聴衆を見渡して、一度もお会いしたことのない方、明らかに初めて自分の演説を聞いてくださるであろう方を探すことだ。我々政治家にとって支援者や理解者の前で演説することはやり易いし、楽しい。しかし、遊説で大切なのは私を知らない一人一人に、直接自分の想いを自分の言葉で伝え、そして共感を持っていただき、点と点を線でつないで熱伝導させることだと思っている。だからこそ、あらかじめ告知され支援者が来て下さる街頭場所同様にそれ以上に、支援者のいないスポットの街頭演説では神経を使い、気合も入れる。

今回も、各地の会場では幾度となくヤジや罵声を浴びせられたり、捨て台詞を吐かれたりした。あるスポット街頭では、胸倉を掴まれて責められたこともあった。しかし、そここそ我々政治家が感じ取らなければならない真の民意や国民の声が存在するのだと信じている。

嬉しいこともたくさんあった。「今まで自民党しか投票したことないが、今回はお前の名前を書いてやる」と言ってくれた伊豆の漁師さん。「20歳になったら絶対に榛葉さんに投票します!」と微笑んでくれた高校生。「榛葉さん!俺のこと覚えてますか?」「えっ?!誰だっけ?」「小学校の修学旅行の国会見学で榛葉さんが名刺をくれて『頑張れよ!』って言われた者です!」「そんなのわかんないよ~!でもすっげー嬉しいよ!!」と再会?を喜び合った青年。「候補は



喉が潰れてこれ以上無理ですから、我々が代わって演説します!」とマイクを握ってくれた熱海の地方議員団の仲間たち。無数の感動がそこにはあった。

目標の200回は、なんと選挙戦残り4日の7月16日の午後5時に浜北区で達成した。新たな目標設定をどうするか…。「300はムリだよなあ…」私が守りに入ってぼやいていると、中1の長男が「残りの日、1日25回やればあと100回できるじゃん!」と言い放った…。初めて息子が鬼に見えた。

遊説スタッフと皆様に支えられ、やり抜いた演説回数は308回。その1回1回が今回の選挙の財産である。街頭演説は政治家を鍛えたとつくづく感じた。



(余談)広辞苑には「演説とは、議会や民衆のなどの前で自らの主義や主張を話すこと。演舌ともいう」とある。「演説」という表記は福沢諭吉と慶応義塾関係者による造語とされている。福沢諭吉の出身地である旧中津藩(現在の大分県中津市)で上申に用いられていた「演舌書」という文書が語源であるが、福沢諭吉が「舌の字はあまり俗なり、同音の説の字に改めん」としたことが端緒である。

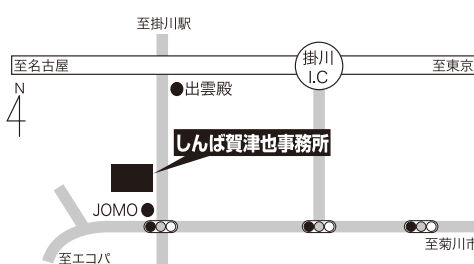
ちなみに日本人に愛されている「演歌」の語源も「演説」である。演歌は自由民権運動において政府批判を歌に託した「演説歌」の略と言われている。「演説」はなかなか奥が深い…。

民主党党员・サポーター登録の御礼

今年も多くの皆様のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様のお気持ちを胸に、初心を忘れることなく日々精進してまいります。

『しんば賀津也と歩む会』 会員募集中!

私たちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支援していただける方を募集しています。年会費は2,000円です。詳しくは事務所までお問い合わせください。なお、しんば賀津也ホームページからもお申込みいただけます。皆様のご入会を心よりお待ちしております。



しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail go@k-shimba.com <http://www.k-shimba.com>

発行責任者: 会長 松下知生

『しんば賀津也と歩む会』は榛葉賀津也の後援会です。

歩む会をはじめとする皆様には、この度の参議院選挙において大変お世話になりました。私にとって三期目への挑戦となった今回は、これまでになく厳しい闘いとなりましたが、本当に多くの皆様から支えられ、励まされ、勝ち抜くことができました。全国で大逆風吹き荒れる中にもかかわらず、四十五万八千九百五十五名の静岡県民の皆様が、猛暑の中それぞれの投票所へ足を運び、六名の候補者の中から私を選択していただき、投票用紙に「しんば賀津也」と書いて下さったのです。改めて、ご支持をいただいたことへの責任の重さを認識し、三〇八回の街頭演説で訴えさせていただいたように、初心を忘れず「常に初陣」の気持ちで、謙虚にそして全力で三期目の職責を果たすことをお誓い申し上げます。



員会長として会派を支えてきていただいた、輿石東議員が副議長に就任されました。又、後任の会長に農林水産大臣などを歴任した郡司彰議員(茨城県選挙区)が選出されました。私は郡司新会長から、参議院の責任ある国会運営を担うべく、「国会対策委員長」の重責を拝命することになりました。国会対策委員長の仕事はあまり表に出ず、わかりにくい部分もありますが、国会をどのように運営するか与野党間で協議・調整をする要の役職であります。特に、野党第一党の国会対策委員長は、与党との折衝と同時に野党の取りまとめの最前線を任せられる、責任の重い役職になります。また、党内の議員たちと国会戦略を練り、その陣頭指揮を執るのも国会対策委員長の大切な役割です。

私は、民主党の再生の第一歩は建設的な国会運営から始まると信じております。野党の国会対策委員長として私の目指す国会運営は「国民にわかりやすい国会」を展開することです。これまでのように、揚げ足取りや反対のための反対をして、競争の為に国益を損ねるような国会運営をしている時間はこの国にはありません。衆議院議員五十七名、参議院議員五十九名。衆参合わせて一六六名。これが現在の民主党のありのままの姿です。奇をてらわず、全員の力を合わせたチームプレーで、徹底的に国益を追求し、直球勝負で緊張感のある国会審議を展開したいと思えます。あくまでも主戦場は議論の現場である「委員会」や「本会議」であるべきなのです。

ご承知の通り、今回の選挙は昨年末の衆議院選挙に続き我々にとって、大変厳しい結果となりました。これまで六年間にわたり第一党の議席を有していた参議院においても、改選前八十六議席から改選後は五十九へと議席を減らし、第一党の座を自民党に受け渡すこととなりました。この民意を真摯に受け止め、もう一度「市民が主役の政治」を目指し、再出発していく覚悟です。辛く苦しい時でも、私たちを支援し続けて下さった皆様がいらっしゃる限り、私は前を向いて改革の道を歩み続けてまいります。

選挙の結果を受けて、参議院では人事も一新されました。議長と副議長が新たに選出をされ、民主党からはこれまで議

院議長として会派を支えてきていただいた、輿石東議員が副議長に就任されました。又、後任の会長に農林水産大臣などを歴任した郡司彰議員(茨城県選挙区)が選出されました。私は郡司新会長から、参議院の責任ある国会運営を担うべく、「国会対策委員長」の重責を拝命することになりました。国会対策委員長の仕事はあまり表に出ず、わかりにくい部分もありますが、国会をどのように運営するか与野党間で協議・調整をする要の役職であります。特に、野党第一党の国会対策委員長は、与党との折衝と同時に野党の取りまとめの最前線を任せられる、責任の重い役職になります。また、党内の議員たちと国会戦略を練り、その陣頭指揮を執るのも国会対策委員長の大切な役割です。

十二年前の初当選以来、私が一貫して主張し続けてきたことがあります。それは「税金を集めて使う側ではなく、働いて税金を納める側に立った政治を実現させる」ということです。私はこれを、これからもブレることなく、愚直に訴えてまいります。二期十二年間の実績に自信と誇りを持ちながらも、決して慢心することなく、努力精進して参りますので引き続きのご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

二〇一三年九月吉日

参議院議員 榛葉賀津也

燃える男の夏の陣！ しんば賀津也 熱闘選挙十七日間

～皆様からいただいたチカラ～

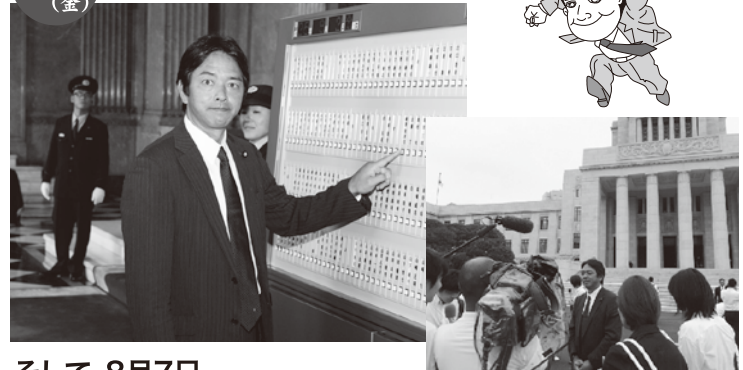
皆様から心強い応援と激励を賜り、長い選挙戦を戦い抜くことができました。

7/21 (日) **当選!**

45万8095票ものご支持を賜り、当選させて頂きました。皆様から託された思いを胸に、初心を忘れず、3期目もブレずに頑張ります!!



8/2 (金) **初登院**



そして、8月7日。
民主党参議院国会対策委員長を拝命しました!



7/17 (木) 静岡～富士～沼津方面



7/18 (木) 袋井～磐田～藤枝方面



7/19 (金) 各地区ファイナル



7/20 (土) 各地区ファイナル



7/11 (木) 沼津～三島～富士方面



7/12 (金) 湖西～浜松方面



7/13 (土) 千頭～磐田方面



7/14 (日) 清水～静岡方面



7/15 (月) 浜松～北遠方面



7/16 (火) 天竜～浜北方面

7/4 (木) 5月12日、静岡本部事務所を開設。浜松、掛川、沼津、三島、下田にも事務所を開設し、県内を駆け抜けました!

